ステップ3 関係代名詞はこわくない

3-1 関係代名詞を含む英文の基本的なとらえ方

☆まず、関係代名詞にはどんなものがあるのか、次の表でおさらいをしてみましょう。

格	主格	所 有 格	目 的 格
人	who	whose	whom (省略可能)
物・動物	which	whose, of which	which (省略可能)
人・物・動物	that	whose, of which	that (省略可能)
なし	what		what

☆なお、この他 as, but, thanが関係代名詞として用いられることがあります。

☆関係代名詞は代名詞の一種です。そこで、元の名詞または名詞相当語句(これを先行詞と呼びます)を必ず確かめましょう。また「関係」とは2つの文を「関係づける」という意味です。つまり接続詞の役割もしている、ということです。

☆さらに、関係代名詞を含む文章を見たら、必ず次の3つの点を確かめましょう。

- 1. 関係代名詞に先行詞を代入して、主節も、関係代名詞節も、ともに完全な文ができるかどうか。(もしできなければ、「関係代名詞節の見きわめ」(3-1-2参照)や「関係代名詞の、節の中での役割」(3-1-3参照)の見きわめが不十分。最初からやり直しましょう)
- 2. 文ができた場合、その文の意味はどういうものか。
- 3. それを主節と結んで表現するには、どういう日本語にするのが適切か。<u>必要に応じて、関係代名詞を具体的に</u> <u>訳したり、接続詞の意味を表に出して訳したりすることも考えましょう</u>。2つの文に分けた訳文にする、という手 もあります。
- ☆なお、関係代名詞のほかにも関係形容詞 (what, which, whatever, whichever) と関係副詞 (where, when, why, how) がありますが、それぞれ文の中での役割が違うだけで、同じ手順で訳文を考えることができます。 ぜひ応用してみましょう。 (関係代名詞が関係形容詞として用いられる場合については3-2-2の②参照)

3-1-1 先行詞の発見

☆先行詞はいつも関係代名詞の直前にあるとはかぎりません。<u>あいだに修飾語句(形容詞句か副詞句)が入ってい</u>ることがあります。こうした語句の中の名詞を先行詞と見間違えないことが肝心です。

0301

例 There was something in his face that curiously attracted most people.

先行詞 修飾語句

彼の顔には、どこかしら、大方の人を妙にひきつけるものがあった。

3-1-2 関係代名詞節の見きわめ

☆関係代名詞節は、その出発点と終点とをきちんと見きわめることが大切です。それには次のコツを身につけましょう。

①出発点の見きわめ

ステップァ 動名詞はここが急所

7-1 動名詞の用法

☆動名詞は、動詞本来の働きと同時に名詞の働きも備えた言葉で、用法には基本的に次の4つがあります。 ①主語としての用法 ②補語としての用法 ③目的語としての用法 ④名詞修飾語としての用法

7-1-1 主語としての用法

☆動名詞が文の主語として用いられているもので、中間訳で「~すること」と訳せます。

0701

例 Looking after children requires patience.

子供の世話をすることは忍耐を必要とする (子供の世話には忍耐がいる)。

7-1-2 補語としての用法

☆動名詞が文の補語として用いられるもので、やはり中間訳として「~すること」と訳せます。

0702

例 Doing nothing is doing ill.

何もしないことは悪いことをすることです(何もしないのは悪事をなすに等しい)。

7-1-3 目的語としての用法

☆動名詞が文の目的語として用いられるものですが、これには動詞の目的語である場合と、前置詞の目的語である場合があります。これも中間訳としては「<u>~すること</u>」と訳せます。

0703

例 He likes playing chess.

彼はチェスをすることが好きです(彼はチェスが好きだ)。 [動詞の目的語]

0704

例 He repents of having been idle in his boyhood.

彼は少年の頃に怠けていたことを後悔している。 [前置詞の目的語]

7-1-4 名詞修飾語としての用法

☆動名詞の特殊な用法として、形の上でまるで形容詞のように名詞を修飾する場合があります。 これは、本来は前置詞 for の目的語であるものが for が省略されると同時に名詞の前に置かれたもので、中間訳 として「~するための」と訳してみるとよくわかります。

0705

例 a walking stick [=a stick for walking] 歩くための杖(散歩杖)

0706

例 a sleeping car [=a car for sleeping] 眠るための客車(寝台車)

☆次のような例との意味の違いに注意しましょう。

0707

例 a walking lady [=a lady who is walking] 歩いている婦人

0708

例 a sleeping baby [=a baby who is sleeping] 眠っている赤ん坊

*ここの walking, sleeping はいずれも現在分詞で、後に続く名詞の動作や状態を表しています。

7-1-5 動名詞の形式上の注意点

☆動名詞の形は、「<u>動詞の原形+ ing</u>」で、これは現在分詞と同じなので注意。これについては前の 7-1-4 及び、後の 7-4-1 を参照。その他、形の上でよく頭にいれておく必要のあることを次に並べておきます。

練習問題 (ステップ 11)

- My father and my grandfather were shoemakers in Italy, and they were the best. My father always told me, "Son, do the best job on every shoe that comes into the shop, and be proud of your fine work. Do that always, and you'll have both happiness and money enough to live on."
- Marriage is not such an important business in England as in Japan. In England you will find many unmarried men and women. Their families do not try to force them into marriage. Strange as it may seem to you, they prefer a single life, and are always allowed to live it without question.
- 3 My friend suggested that I should stay with him for a few days so that he could show me something of the surrounding country. I accepted the invitation, but told him that my engagement would prevent me from spending more than a couple of nights with him.
- Even Einstein, when he formulated the general theory of relativity in 1915, was so sure that the universe had to be static that he modified his theory to make this possible.
- Both employers and college admission officers in the United States give considerable weight to the activities in which a student has participated during his free time, both after school and during his long holidays, as well as to his academic grades.

添削課題 (ステップ 12:比較表現の考え方)

1

The first subject that attracted my attention was religion. For it seemed to me of the greatest importance to decide whether this world I lived in was the only one I had to think about or whether I must look upon it as no more than a place of trial which was to prepare me for a life to come.

2

Knowledge in itself is not an end, but a means to an end: to live a full and humane life. Toward that end certain minimum essentials of knowledge are necessary. These are obviously reading, writing, and arithmetic, the basic tools necessary to make one's way about in the world. A basic competence in the use of these tools is indispensable, but here again it is not so much the basic competence that is important as what one has learned in the process of acquiring that competence.